 赤の森  
TAKATSUKI  
RED CROSS  
HOSPITAL

2013 Oct  
No. 89  
[www.takatsuki.jrc.or.jp](http://www.takatsuki.jrc.or.jp)

特集 小児科

マイコプラズマ肺炎の診断 (4・5面)



# 退職の挨拶

前循環器科部副部長 大塚 宏治



本年6月末で高槻赤十字病院を退職致しました。在職中は多くの方々に支えていただき、恵まれた環境で仕事ことができましたことに感謝いたします。

早いもので日赤に勤務するようになって7年がすぎ、医師となってからの約半分をこの病院で過ごさせていただきました。外来診療・入院診療・検査・手術など業務が重なるときは気忙しいこともございましたが、循環器内科医として充実した日々を送ることができました。

現在、私は父の診療所を引き継ぎ、豊中市庄内で診療を続けております。診療以外の雑務もいろいろあり慣れないことばかりですが、何とか日々の仕事をこなしております。今までの経験を生かし、患者さんの訴えをゆっくり伺い丁寧な診療を行なうことで地域医療に貢献して行こうと考えております。



右は新しく循環器外来診療を担当している白澤医師です

長い間大変お世話になりありがとうございました。しばらくの間、非常勤医師として火曜の循環器外来を担当させていただいておりますので、今後ともよろしく願いいたします。

## 一日看護師体験

看護部 青木 和美



当院看護部では、大阪府健康医療部保健医療室の受託事業に参加し、大阪府内の高校生(2・3年生)を対象に、1日看護師体験を実施しています。その目的は、看護に対する理解を深めると共に、進路の参考としていただくためです。今年は、7月30・31日の2日間、高校生18名を受け入れました。

高校生は、白衣を着て髪の毛をまとめ、気持ちを引き締め病棟に向かいました。看護師と一緒に行動し、休む暇もなく病棟の中を歩き周り、看護師の仕事の大変さを身をもって実感した反面、看護ケアの後に、患者さんから看護師に「いつもありがとうね」と言われているの聞き、人に感謝してもらえたりやりのある仕事だと感じられたようでした。

今回体験に来られた殆どの高校生が、将来看護師を目指していたためか、看護師の行動に関心を持ちしっかり観て・感じ、今まで想像していた看護師の仕事と違って驚きながら、看護という仕事の理解を深めることができました。体験を通して、看護師の姿に看護という仕事の大変さだけでなく、患者さんとの関わりの中から、看護のやりがいや魅力を感じてもらえたようです。そして、看護師という仕事を高校生自身が自分の目で観て感じて理解し、看護師になりたいという気持ちをさらに強く持つことができた体験になったことを嬉しく思います。



# 認定看護師紹介

緩和ケア認定看護師 藤原 和子

緩和ケアの目的は、がん患者さんのQOL(生活の質)を高めることにあり、緩和ケア認定看護師の役割は、「苦痛症状の緩和と療養の場に応じた患者・家族のQOLの向上を図る。」「患者・家族の心に寄り添った支援を行う。」ことです。当院では2名の緩和ケア認定看護師が、がん相談支援、緩和サポートチームとして実践・指導・相談活動をしています。

私自身の活動は、がん告知の際などに、がんカウンセリングとして関わらせて頂くなど、告知からがん闘病の全期間を通して、がん患者と家族の方の様々な痛みが少しでも和らぐようお手伝いさせて頂いています。WHOでは緩和ケアは、早期から様々な苦痛の緩和にとりくみ、QOLを改善するために行うものと定義されています。しかし緩和ケアという言葉から末期をイメージして敬遠される方もおられます。

**そこで緩和ケアは何をするのか、利用する時期や場所についてお伝えしたいと思います。**

## いつでも

がん告知から治療中、再発や転移した時、末期など、どの時期からでも受けることができます。

## どこでも

「緩和ケア」は緩和ケア病棟だけでなく、一般病棟、外来、在宅、どこでも受けることができます。

## 緩和ケア

- ・痛み、だるさ、息苦しさなど、さまざまな身体の症状
- ・食事、治療の副作用についての悩み
- ・告知や治療についての迷い、不安、不眠、気分の落ち込み
- ・家族や仕事のこと、医療費、自宅療養についての心配
- ・心の痛み、周囲に迷惑をかけて申し訳ないという気持ちなど

このような多様な痛み(つらさ)が緩和されるよう、お気持ちを伺い一緒に考えながら、専門職によるチームで支援を行っています。

今後は、いつでもどこでも切れ目なく緩和ケアを活用して頂けるよう、院内や地域の方と連携して活動していきたいと思っています。どうぞ、お気軽に声をかけてください。



当院の緩和ケア認定看護師  
左：勇（いさみ） 右：藤原

### 一般診療について

北摂三島地域の基幹病院の小児科として開業医の皆様および他病院小児科と連携を保ちながら小児科領域全般の診療に当たっています。一般外来は月曜日から金曜日の午前中に行っています。午後からは乳児検診(1ヶ月検診、3,6ヶ月検診)、各種予防接種を行っています。このほか第2,4週火曜日の午後に小児循環器専門外来を、第1,3週火曜日の午前に小児神経専門外来を行っています。これらの専門外来、乳児健診、予防接種は予約制になっています。

三島地域広域小児救急として積極的に救急車の受け入れをしています。また二次救急輪番病院として毎週水曜日に小児科医師が24時間待機していましたが、9月からは毎週、水曜日、金曜日の24時間待機しています。

新生児医療に関しては、産婦人科と連携してハイリスク妊婦及び集中治療の必要な新生児の受け入れを行っています。

### マイコプラズマ肺炎

マイコプラズマ肺炎は、飛沫感染により学校、幼稚園、保育所、家庭などの比較的閉鎖的な環境で、地域的に流行します。

従来、わが国では、4年ごとのオリンピックの開催年に一致してほぼ規則的な流行を認めていましたが、最近ではこの傾向は崩れて毎年地域的に小流行を繰り返すようになってきました。咳は必発の症状で、乾性～湿性の咳が頑固にしかも長期にわたって続きます。また幼児などでは発熱もよく見られます。

診断は血液検査でマイコプラズマ抗体価を測定し2週間後に4倍に上昇していたら確実です。しかしながら実際には確定診断まで待てないので、一般には臨床症状、胸部X線、血液検査で決めているのが現状です。つまり日々の臨床においてマイコプラズマ肺炎の診断は難しく、確定診断されることなく、あたりをつけてクスリを出すのが一般的です。

また近年、マイコプラズマ肺炎に効くとされる、マクロライド抗生剤に耐性をもつマクロライド耐性マイコプラズマ肺炎も見られるため、注意が必要です。

### マイコプラズマ肺炎のPCR診断

近年PCR法は菌のDNAを100万倍に増幅するもので、その感度より感染症においても積極的に使用されている有用な検査法です。特にマイコプラズマ肺炎の早期の確定診断は血液検査、胸部レントゲン検査からでは難しいのが現状ですが、このPCR法を使えば約3時間ほどで確定します。私たち高槻赤十字病院小児科では肺炎の入院患者において、マイコプラズマ肺炎のPCRを全症例に行い、入院1日目に確定診断を行い適切な治療を心がけています。このように当院においては診断しにくい、またクスリが効きにくいものもあるという、厄介なマイコプラズマ肺炎を早期に確定診断により適切な治療、副作用の少ない抗生剤の使用を心がけ、患者さまの早期の退院にも心がけております。

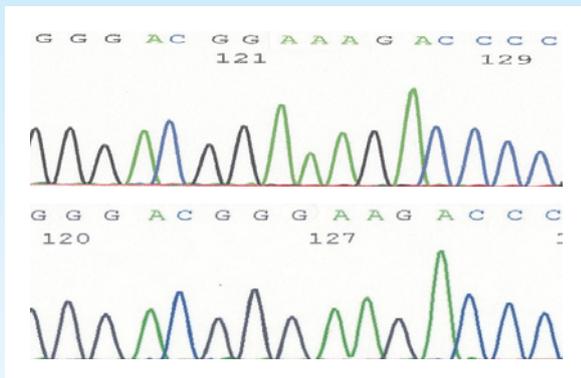
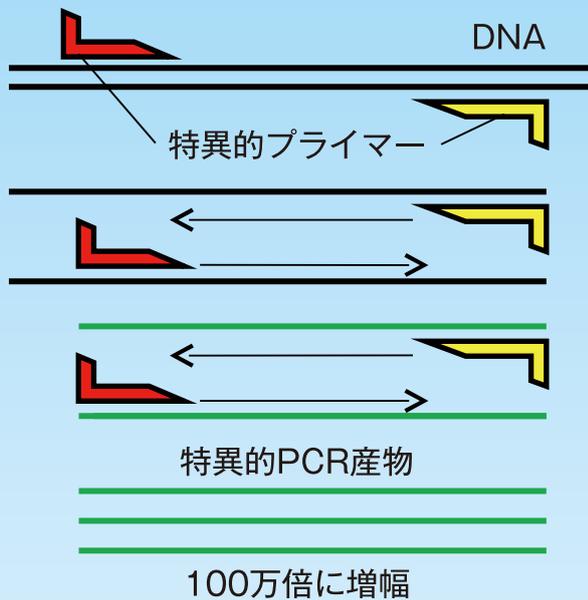
今後とも、基幹病院として質の高い医療を提供していきたいと心がけて参りますので、宜しくお願いいたします。

## 胸部X線像

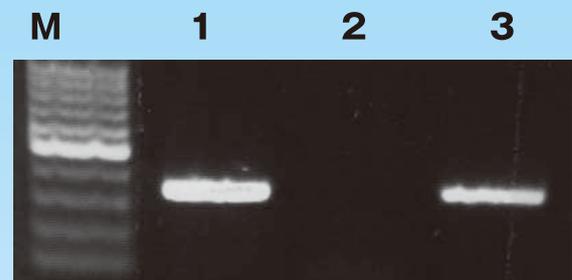


13歳男児  
 右下中肺野に肺炎像を認める  
 血液検査で白血球数：6400、CRP:3.2  
 フロモックス内服するが解熱せず  
 マイコプラズマ肺炎も考えジスロマック  
 処方されるが、咳が強くなり解熱しないため  
 当院小児科に紹介となった。

## PCRの原理



## 特異的バンドの確認



M : マーカー  
 1 : 症例  
 2 : 陰性コントロール  
 3 : 陽性コントロール  
 PCRよりマイコプラズマ肺炎と診断

AACGGGACGGAAAGACCC

A2063G  
 Lys → Glu

AACGGGACGGGAAGACCC

マクロライド耐性に強く関係する 23S rRNA 遺伝子の変異をダイレクトシーケンスにより確認した。

症例には2063番目のAがGに変異、これによりアミノ酸の置換がおき、マクロライド耐性であった。

# 平成25年度認定看護師研修会のご案内

当院認定看護師主催の研修会を開催しております。

近隣地域の看護師はもちろんのこと、医療従事者（介護職・理学療法士・栄養士など）を対象としておりますので、「感染」「救急」「がん看護」「スキンケア」「糖尿病看護」などにご興味のある方のご応募お待ちしております。

**申込方法**

ホームページのエントリーフォームから申込ができます。  
<http://nurse.takatsuki-jrc.jp/sub/resume.html>

**参加費**

全コース無料

研修名	主な内容・開催月日		
<b>「みんなで考えよう!褥瘡予防」</b> ～皮膚の構造と予防的介入を中心に～	<b>第1回</b> ・皮膚の解剖整理やスキンケアの必要性と方法 8月1日(木)	<b>第2回</b> ・褥瘡の発生機序や予防の方法(ポジショニング, 必要な栄養管理) 12月19日(木)	<b>第3回</b> ・グループワークや演習 2014年2月13日(木)
<b>「感染管理」</b>	<b>第1回 標準予防策1</b> ・感染対策の概念 ・標準予防策とは ・手指衛生・防護用具 ・咳エチケット ・患者配置 6月13日(木)	<b>第2回 標準予防策2</b> ・周囲環境対策 ・ケアに使用した器材の取り扱い ・安全な注射手技 ・鋭利器材の取り扱い 9月5日(木)	<b>第3回 標準予防策3</b> ・看護場面における標準予防策 12月26日(木)
<b>「五感で異常サインを発見!」</b> ～Let's フィジカルアセスメント～	<b>第1回</b> ・呼吸困難患者のフィジカルアセスメント 7月18日(木)	<b>第2回</b> ・ショック患者のフィジカルアセスメント ・腹痛を訴えている患者のフィジカルアセスメント 9月27日(木)	<b>第3回</b> ・意識障害患者のフィジカルアセスメント 2014年1月9日(木)
<b>「がん看護」</b> ～事例から学ぶがん看護 その診断期から終末期まで～	第1回 がん総論 7月4日(木) 第2回 診断期 8月8日(木) 第3回 治療期(化学療法①) 10月3日(木) 第4回 治療期(化学療法②) 11月7日(木) 第5回 再発期(がん性疼痛) 12月12日(木) 第6回 症状緩和(疼痛以外の症状) 2014年1月16日(木) 第7回 終末期 療養の場の選択 2014年2月6日(木)		
	◎緩和ケアコース 第1, 2, 5, 6, 7回を受講 ◎化学療法コース 第1, 2, 3, 4回を受講		
<b>「糖尿病療養指導の基礎知識」</b> ～合併症予防と進展予防のために～	<b>第1回</b> ・糖尿病療養指導者としての心得 ・糖尿病とは(病態, 検査, 合併症) ・検査値の読みかた ・食事療法について ・運動療法について 9月12日(木)	<b>第2回</b> ・薬物療法について ・緊急時の対処方法(低血糖, 高血糖緊急症) 10月10日(木)	<b>第3回</b> ・患者心理について ・チーム医療とは ・もっと糖尿病を勉強したい時は…… ・テスト 11月14日(木)

## 当院のボランティア紹介

今回は高槻日赤技能奉仕団の中島知香子さんにお話を伺いました。 社会課 社会係長 大内 貞則



▲ 前列右から2番目が中島さん

Q1

ボランティアを始めたきっかけを教えてください。

健康生活支援講習会を日赤病院で受講した時に現職場のOGが受付でいらっしやっただので、是非にと勧められ、ボランティアを始めました。

Q2

ボランティア活動を続けられる秘訣はなんですか。

今年で結成31年という長い歴史もあり、ベテランの諸先輩方の指導の元、いつも楽しく勉強させて頂いてます。  
 私は仕事を持っていますので、活動に参加できないことが多いのですが、無理のない範囲でやっています。

# 平成25年度秋期(10月~12月)糖尿病教室のご案内

## ◆ 年間テーマ “四季使える糖尿病教室”

当院では、糖尿病学会認定の専門医、糖尿病看護認定看護師、療養指導士、管理栄養士等が中心となり、市民の皆様が日常生活の中で正しい知識をもって健康管理が行えるよう、お手伝いさせて頂いております。毎月開催される当院の糖尿病教室を是非お役立て下さい。

**場 所** 当院3階 第一会議室・講義室

※ 講師、テーマは予告なく変更する場合があります

時 間	10月8日(火)	11月12日(火)	12月10日(火)
11:00 ~ 11:20	<b>糖尿病との付き合い方</b> 糖尿病・ 内分泌・生活習慣病科部長	<b>糖尿病とくすり</b> 薬剤師	<b>患者体験談</b> 意見交換会
11:20 ~ 11:40	<b>糖尿病になっても元気で 長生きをするコツ!</b> ~くだもの好きですか? くだものをおいしく食べるコツ~ 糖尿病看護認定看護師	<b>糖尿病の検査について</b> 検査技師	<b>糖尿病になっても元気で 楽しく過ごすコツ!</b> ~体験談をとおして~ 糖尿病看護認定看護師
11:40 ~ 12:00	<b>食事療法 1</b> 管理栄養士	<b>食事療法 2</b> 管理栄養士	<b>食事療法 3</b> 管理栄養士
12:00 ~ 12:45	<b>糖尿病食試食会</b>		
12:45 ~ 13:00	<b>休 憩</b>		
13:00 ~ 13:20	<b>ミニ健康講座</b> <b>糖尿病と網膜症</b> 眼科医師	<b>ミニ健康講座</b> <b>糖尿病と運動</b> 理学療法士	<b>ミニ健康講座</b> <b>糖尿病と足病変</b> 皮膚科医師

**主 催** 高槻赤十字病院

**受講料** 食事代実費800円を当日に頂きます。

**申込方法** 医療社会事業部社会課までお申込ください。 072-696-0571 (内線481番)

### Q3

#### ボランティア活動での楽しみは何ですか。

病院でボランティアをしていると患者様の笑顔に出会えるのがいいですね。

小さな力でも役立っていると思うと、こちらでも嬉しくなり、笑顔になります。

### Q4

#### 実際にどのようなボランティア活動をされているのですか。

病院玄関に立ち、来院された患者様に車椅子を必要に応じて提供したり、車から車椅子に移り移る際のお手伝い、受付案内など。

病棟では入院患者様の足浴、手浴、シャンプーなどをさせて頂いています。病院以外の活動では高槻市の行事で救護活動で怪我などの簡単な応急処置をしています。

### Q5

#### 最後に一言お願いします

ボランティアをしていて、「若いのにえらいなあ」と言われる事がありますが、年齢は関係ありませんし、仕事を持っていてもきっかけがあれば誰でも参加できます。

できる範囲で、尚且つ、責任を持ってボランティアを一緒にやってみませんか?



当院は、地域医療支援病院として地域から誇りとされる病院を目指しています。また、医師・看護師・医療従事者や地域住民を対象に講演会やセミナーなど数多く活発に行っています。

今年度からは高槻市教育委員会・高槻市保健所と協力して、高槻市内の各小学校で1年生と一緒に「手洗い教室」を開催しています。紙芝居や「手洗い」の仕方を替え歌に乗せて一緒に実践したり、ちょっとした芝居(バイキンマン登場)を披露しています。



当院は、病院の責務である医療はもとより、予防医療として、地域の方々に感染予防の大切さを生活習慣の中に取り入れられるよう幼い時から身に着けもらうために小学校1年生を対象に現在活動しています。

## 手洗いの正しい手技について

石鹸をしっかりと泡立て  
泡で洗いましょう。

① 手のひらをよくこする



② 手の甲をのばすようにこする



③ 指先・ツメを念入りにこする



④ 指の間を洗う



⑤ 親指をねじり洗いする



⑥ 手首も忘れずに洗う



## 家庭で役立つ薬のお話

# お薬と飲み物

薬剤部 岩井 真里絵

皆様はいつもお薬を何で飲んでいきますか？

多くの方は、水かぬるま湯で飲んでいると思います。結論から言うと、お薬を飲むときはコップ1杯程度の水やぬるま湯で飲むのが良いでしょう。

では、その他の飲み物はお薬に影響するのでしょうか？

例えば、牛乳にはカルシウムが含まれていて、それが一部の抗生剤や骨粗しょう症の薬と結合し、体内に吸収されにくくなって薬の効き目が弱くなってしまいます。

紅茶やコーヒーには興奮作用があるカフェインが含まれていて、鎮静薬と一緒に服用すると薬の効き目が抑えられるので、十分な効果を得ることができません。

お酒(アルコール)と一緒に薬を飲むと、アルコールによって薬の代謝が阻害されて、効果が強く出すぎてしまうことがあるのでとても危険です。特に睡眠導入剤では、脳で薬の濃度が上がりすぎてしまい、昏睡状態に陥ることもあります。

このように、お薬と飲み物との関係は複雑です。実際にこれらの飲み物で飲んでも影響しないお薬もたくさんあります。

気になる方は、医師や薬剤師にご相談下さい。



## 日本赤十字社 高槻赤十字病院

〒569-1096 大阪府高槻市阿武野 1-1-1  
TEL 072-696-0571 (代表)  
URL <http://www.takatsuki.jrc.or.jp>  
mail [trc@takatsuki.jrc.or.jp](mailto:trc@takatsuki.jrc.or.jp)  
発行責任者 事務部長 神谷 尚孝

### 高槻赤十字病院の理念

私たちは人道・博愛の赤十字精神に基づき、高度で安全な医療を提供し、地域の人々が誇りにする病院となるよう努めます。

### 高槻赤十字病院の方針

1. 患者さまの人權と意思を尊重し、患者さま中心の医療をおこないます。
2. 一人ひとりの患者さまを全職員が支援する、チーム医療をおこないます。
3. 患者さまのホームドクターと緊密に連携し、地域で完結する医療をおこないます。
4. 常に向上心と研究心を持ち、最高最善の医療が実現できるように努めます。
5. 健全な病院経営と地域に貢献できる医療従事者の育成に努めます。
6. 災害救護活動をはじめとする赤十字に課せられた使命を果たします。



### モバイルサイト

携帯電話でQRコードを  
読み取ってアクセスしてください

病院情報は  
こちらから！

